

令和4年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 小 野 寺 誠

フロンティア秋田 後 藤 良

そ う せ い 齊 藤 勝

秋 水 会 赤 坂 光 一

1 市政運営について

(1) アフターコロナを見据え、今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済活動の両立に向けて、本市としてどのように取り組んでいくのか

2 「東北絆まつり2022秋田」について

(1) 祭りの開催に向けた市長の意気込みはどうか、また、「東北六魂祭2015秋田」において披露された、夢と希望を与えてくれるブルーインパルスの演技は行われぬのか

3 本市の公共事業における入札参加資格について

(1) 今後の発注に当たっては、本市経済への寄与という観点から、特別の施工技術を要する場合を除き、入札参加資格を市内に本社が所在する施工業者に限定すべきと思うがどうか

4 農業振興策について

(1) 農家への支援について

ア 令和3年度に販売を目的として主食用米を作付しており、今後も農業経営を継続する意思のある農家を対象として、本市独自の支援金を交付してはどうか

イ 本市の特産を目指し、漬物加工・販売を行う農家に対して、支援を行う考えはないか

(2) 過疎地における農業振興策について

ア 過疎地における農業課題に対して、本市が考える農業振興策とは何か

5 市職員が働きやすい職場づくりについて

(1) コロナ禍における職員同士及び上司とのコミュニケーションはどの

ように行われているのか、また、その現状認識はどうか、さらに、アフターコロナを見据え、全職員が働きやすいと思える職場づくりに向け、今後、どのように取り組んでいくのか

6 移住定住者の増加に向けた取組について

- (1) 2022年版第10回「住みたい田舎」ランキングにおける人口20万人以上のまちの中で、シニア世代が住みたいまちで本市が第1位に選ばれたことを踏まえ、今後、若い世代のシニア予備軍に対してどのようにして情報発信を行っていくのか、また、移住定住者のさらなる増加に向けた新たな施策は何か考えているのか

7 教育行政について

(1) 学校給食について

ア 共同調理場から配送される小中学校では、給食が冷めておいしくないとの声があることから、配送時に保温機能の高い機材を用いることなどにより温かい給食を提供すべきと考えるがどうか

(2) 小学校の警備体制について

ア 児童数の少ない小学校には、児童の安全安心確保のため、地域の実情を把握している警備員の配置を継続すべきではないか

8 河辺地域の振興について

- (1) 令和3年4月に施行された過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、今後、同地域への支援はどのように行われていくのか

(2) スポパークかわべの活用について

ア 同施設内のグラウンドゴルフ場に、パークゴルフ場を設置する考えはないか

(3) 国道13号の河辺拡幅の早期実現及び道の駅の設置について

ア 国道13号の河辺拡幅の早期実現に向け、国及び県に対してさらに強く要望すべきではないか

イ 国道13号沿いに（仮称）道の駅かわべを設置し、同地域のにぎわい創出につなげる考えはないか

1 除排雪等について

- (1) 今冬の道路除排雪について、初動体制の遅れを感じたが、昨冬の課題や教訓を踏まえた上での対応であったのか、また、改善に向けて実効性のある取組が必要と考えるがどうか
- (2) 秋田市ゆき総合対策基本計画は策定から8年が経過しているが、これまでに改訂を行わなかった理由は何か、また、今後の改訂についてどのように考えているのか
- (3) 市民の疑問等に答えるため、ホームページに除排雪に関するQ & Aを掲載すべきではないか
- (4) 道路除排雪活動支援に係る小型除雪機の貸出しについて
 - ア 需要を満たすための台数はあるのか
 - イ 降雪量に応じて柔軟に申請できる仕組みづくりが必要と考えるがどうか

2 買物弱者への支援について

- (1) 移動販売を行っている事業者に燃料費を補助する考えはないか

3 あきエコどんどんプロジェクトの利用拡充について

- (1) 市民一斉除雪デー、全市清掃月間、ボランティア清掃など多くの市民が参加するボランティア活動の周知及び参加促進のため、参加者にポイントを付与する考えはないか

4 スポーツ振興について

- (1) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における本市の結果を踏まえ、子供の運動能力を伸ばすために、これまでにどのような取組を行ってきたのか、また、その効果はどうか
- (2) 民間のスポーツ団体が主催する外部指導者を招聘した市民向けワークショップに補助金を給付する考えはないか

5 性の多様性への配慮について

- (1) L G B T Q（性的マイノリティー）への配慮の一環として、手始めに市役所本庁舎の多機能トイレの名称を「だれでもトイレ」とし、それにふさわしいピクトグラムを標示する考えはないか

6 SNSを活用した本市のPRについて

- (1) 秋田市公式インスタグラム等の本市公式SNSの登録者数をさらに増やすために、今後、どのような取組を行っていくのか
- (2) 首都圏向けにふるさと納税やECサイト「あきたづくし」等の有料広告をSNSに掲載する考えはないか

7 教育等について

- (1) 市立小中学校において、教師、保護者及び児童生徒の理解を深めるために、H S P（ハイリー・センシティブ・パーソン）について学ぶ場をつくる必要があると考えるがどうか
- (2) オンライン授業が受けられる環境を整備すべきと考えるがどうか、また、オンライン授業を受けた不登校児を出席扱いとする考えはないか
- (3) 不登校児の保護者を対象にした「心のふれあい相談会」について、どのくらいの頻度で開催されているのか、また、十分な周知がなされ、参加しやすいものになっているのか
- (4) 児童生徒に対し、性の多様性についてどのような教育をしているのか、また、専門家による学習の機会を設けるべきと考えるがどうか
- (5) 通学路に熊が出没したことがあるが、登下校時の対策をどのように行っているのか

8 車中泊設備の整備について

- (1) 道の駅あきた港や太平山リゾート公園内に、車中泊で利用できる設備を整備してはどうか

9 廃校舎の利活用について

- (1) 若者にとって魅力あるまちを目指す観点から、アウトドアショップやスケートパークなどが一体となった施設（仮称）Xベースを設置してはどうか

10 大森山動物園について

- (1) 森のステージ広場の活用状況はどうか
- (2) 同動物園内のイベント施設の使用許可については、申請方法が分かりにくいことから、ホームページ等で積極的に周知を行うことにより、利用の拡大につなげるべきではないか

1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 外旭川地区のまちづくりについて、モデル地区とはいえ、同地区の住民に説明が全くなされていないことについて、どのように考えているのか、また、同地区住民に対する説明会及び意見聴取の場を市主体で設けるべきと考えるがどうか
- (2) 外旭川地区まちづくり事業パートナー選定プロポーザルの事業提案書等の審査に当たり、選定委員以外のアドバイザーの活用をどのように考えているのか、また、提案を求める事項には、各種整備条件が設定されているが、どのように適正な審査を行っていく考えなのか
- (3) 新スタジアム整備は市が主導しているようにみえるが、県・市の役割分担について、どのように考えているのか

2 洋上風力発電設置による地元経済の活性化について

- (1) 洋上風力発電設置に伴う地元経済の活性化に、どのように取り組んでいくのか、また、どのような経済波及効果を見込んでいるのか
- (2) 洋上風力発電設置に伴う雇用の創出及びサプライチェーンへの参入などを地元経済の活性化につなげるためには、地元企業・人材を育成することが必要であるが、そのための具体的な支援をどのように行っていくのか

3 地域おこし協力隊について

- (1) 地域おこし協力隊制度を導入し5年が経過しようとしているが、成果及び課題はどうか、また、今後の方向性はどうか
- (2) 同隊員退任後の本市への定住・定着に向けた支援の充実・強化について、どのように考えているのか

4 除排雪について

- (1) 今冬のこれまでの除排雪について、市長は十分な対応ができたと認

識しているのか

- (2) 過去本市において実施された除排雪のモデル地区を再度設定し、本市にふさわしい除排雪の在り方を検証し、持続可能な除排雪システムを構築すべきと考えるがどうか

5 文化財行政について

- (1) 本市の文化財の特徴をどのように認識しているのか、また、観光分野との連携などによる文化財の具体的な活用をどのように考えているのか
- (2) 文化財保存活用地域計画の策定状況はどうか

6 キャリア教育について

- (1) 本市ではキャリア教育をどのように位置づけているのか、また、さらなる充実を図るため、具体的にどのような取組を行っていくのか
- (2) キャリア教育の必要性や意義の理解について、教員一人一人の一定の共有を図るため、どのような取組を行っていくのか
- (3) 県内で実施しているキャリアノートは、校種間においてどのように連携が図られているのか、また、どのように活用しようとしているのか

1 若者の雇用について

- (1) 現在の取組状況はどうか、また、課題をどう捉えているのか
- (2) 他都市における取組について、注目している施策はあるのか
- (3) 令和4年度に重点的に取り組む施策は何か、また、その理由は何か

2 市民意見を施策に反映させる手法について

- (1) 市政運営に関する市民の意見を広く聴取し、反映させる手法について、今後どうあるべきと考えているのか
- (2) 市民100人会からの意見聴取について、原案を検討する段階から実施するなど、より積極的に活用すべきと考えるが、現状と今後の活用方法はどうか

3 廃校舎の利活用について

- (1) 本市のこれまでの廃校舎の利活用は、地域活性化にどう寄与したと捉えているのか、また、今後どのような効果を期待するのか
- (2) 今後増えていく廃校舎の利活用を促進するため、全庁を挙げての仕組みづくりが必要と思うがどうか
- (3) 地域住民による廃校舎の利活用策の検討を活発にするために、他都市の事例等の情報提供などを行うべきと思うがどうか

4 八橋運動公園の施設整備について

- (1) 秋田県立体育館の建て替えを機に、同公園全体の施設整備構想を県・市連携で検討すべきと思うがどうか
- (2) 同構想を検討する中で、さきがけ八橋球場の改修等を具体化する必要があると思うがどうか

5 一般質問等への答弁後の対応について

- (1) 一般質問等において、「検討する」といった答弁がよくあるが、そ

の後、どのような検討がなされ、どう施策に反映されたのかを市民及び市議会へフォローアップする仕組みが必要と思うがどうか

6 新屋ガラス工房について

(1) 同工房のこれまでの取組は、新屋地区における地域資源を生かした住民主体のまちづくりについて、設置当初に思い描いた理念を実現できているのか

(2) 同工房を観光文化スポーツ部の所管とした上で、他の地域資源と結びつけて総合的に活用しながら、価値を高めていくための取組をすべきと思うがどうか

7 秋田公立美術大学について

(1) 本市は設置者として、同大学にどのような展望を期待しているのか

(2) 開学10周年記念事業として、本市が同大学と連携した取組を行ってはどうか

(3) 同大学の学生寮を建設し、寮生と住民が地域づくりを行うことは本市にとって有益と思うが、設置者としてどう考えるのか